

2013 年度成蹊大学法科大学院入学試験問題 小論文

問題文の指示に従って、論理的で説得力のある文章を 1000 字以上 1600 字以内で作成しなさい。

解答にあたっては、句読点および段落を改めるために生じる余白も、字数に数えるものとする。問題は架空の設例であり法的な知識を問うものではないので、法律の解釈論や判例・学説の羅列は評価されない。なお、賛否いずれの見解を取ろうと、そのこと自体は点数評価とは関係しないものとする。

【問題】(配点：100 点)

A 国に住む X_1 (夫)・ X_2 (妻) は裕福な夫婦であり、ともに子供を欲しがっていたが、妻が病気で妊娠が困難な体になったので、子供が欲しくても望めない夫婦のために、金銭的報酬と引き替えに、妊娠する意思のある若くて健康な女性、すなわち「代理母」を仲介する業者に紹介を依頼した。

業者は募集広告を出し、応募者の中から、厳しい健康診断を受け、依頼者の希望するすべての条件を満たした W が最終的に代理母に選ばれた。W は夫と死別したばかりで、まだ幼い子供をかかえ、働くこともままならず、生活が困窮していたため、 X_1 が提示した高額な報酬に魅力を感じて応募した。 X_1 と W は代理出産契約を締結した。その内容は、2 年以内に、W は X_1 の精子を人工授精し、妊娠したら、妊娠期間中は、一定の行動規範（飲酒不可、喫煙不可、薬物不可等）を守ることはもちろん、出産後はすぐに養子契約に同意し、母親としての権利を一切放棄することも含まれていた。また、妊娠、出産にかかる医療費、妊娠期間の生活費もすべて X の負担とされていた。

W は人工授精により妊娠し、健康な赤ちゃんを出産したが、赤ちゃんに対する愛情が芽生え、引き渡す直前になって、「報酬は返すから子供を渡したくない」と言い出した。驚いた X_1 ・ X_2 がこれを拒むと、W は赤ちゃんを連れて逃走した。まもなく、警察が発見し、赤ちゃんは無事に保護された。

その後、 X_1 ・ X_2 と W の間で、赤ちゃんの親権をめぐる争いが生じた。A 国には、代理出産の契約を認める法律も、禁止する法律も存在しなかった。

あなたならどう考えますか。できるだけさまざまな観点から考察して、意見を述べなさい。